

## 令和2年第1回江別市総合教育会議

1 日時 令和2年7月22日（水）午後1時35分～午後3時00分

2 場所 公室

3 出席者

（構成員） 江別市長 三好 昇  
江別市教育委員会  
教育長 黒川 淳司  
委員 支部 英孝  
委員 橋本 幸子  
委員 林 大輔  
委員 須田 壽美江

（学校教育支援室）

教育部学校教育支援室教育支援課長 松井 正行  
教育部学校教育支援室学校教育課学校教育係長 中山 雄太  
教育部学校教育支援室学校教育課学校教育係主査 馬場 康彰

（事務局）

教育部長 萬 直樹  
教育部総務課総務係長 嶋中 健一  
教育部総務課総務係主査 工藤 雅和

4 議題

- (1) 令和2年度教育施策について
- (2) 教育委員会における新型コロナウイルス感染症に係る対応について
- (3) GIGAスクール構想について

会 議 録

萬教育部長	<p>それでは、ただいまから、令和2年第1回江別市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>私は、議事に入るまで進行役を務めさせていただきます、教育部長の萬と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>開催に先立ちまして、先日の第2回市議会定例会にて新しい教育長として、黒川教育長の就任、また林委員が委員として再任されました。</p> <p>今回の会議は、新体制で初めての会議となりますので、まずは、出席者の皆様から自己紹介をお願いいたします。</p> <p>まず、黒川教育長お願いいたします。</p>
黒川教育長	<p>こんにちは。</p> <p>私は、このたび、江別市教育委員会教育長を拝命いたしました黒川淳司でございます。</p> <p>私は、江別市で小学校長を5年間経験させていただきましたが、この経験を生かしつつも、教育行政につきましては、基礎からしっかりと学んで、教育委員会内部はもとより、市長のご意見をよくお聞きして、十分に連携をしながら教育行政を進めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
萬教育部長	<p>次に、支部委員お願いいたします。</p>
支部委員	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>それでは、私の方から簡単に自己紹介をさせていただきます。</p> <p>私は、平成27年6月に、江別市教育委員に任命されました。</p> <p>令和元年6月に再任され、教育委員として6年目を迎えております。</p> <p>総合的な教育全般について話し合われるこの会議は、江別市の教育について考える上で、大変重要な位置付けであると思っており、黒川新教育長をお迎えしての第1回総合教育会議は、新しい江別市の教育の未来を占う重要な会議と受け止めております。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
萬教育部長	<p>次に、橋本委員お願いいたします。</p>
橋本委員	<p>橋本幸子と申します。</p> <p>委員としては7年目になりました。</p> <p>江別市育ちで、今、現在は、江別市の認定こども園で勤務しております。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
萬教育部長	<p>次に、林委員お願いいたします。</p>
林委員	<p>林大輔と申します。</p> <p>先般、議会で同意されまして、教育委員として2期目、5年目となりました。</p> <p>私自身、大学一年生と高校一年生の子供がおりますので、それを踏まえて、江別市の教育行政に協力したいと思います。</p> <p>よろしくをお願いいたします。</p>
萬教育部長	<p>次に、須田委員お願いいたします。</p>
須田委員	<p>須田壽美江と申します。</p> <p>まだ1期目、3年が過ぎたところです。</p> <p>社会教育関係でいろいろと、例えば子供たちのバドミントン教室や、習字教室などをしております。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
萬教育部長	<p>ありがとうございました。</p>

<p>三好市長</p>	<p>続きまして、総合教育会議の開会に当たりまして、会議の主宰者であります、市長からご挨拶をお願いいたします。</p> <p>それでは、私から、今年度第1回目の総合教育会議を行うに当たり、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。</p> <p>今ほど、教育部長からお話がありましたとおり、先の第2回市議会定例会におきまして、黒川教育長の任命、そして林教育委員の再任が議会で承認されまして、このたび、就任していただきました。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>退任されました月田教育長には、12年間、江別市の教育行政のかじ取りをしていただきました。江別市は文教都市でございます。その文教都市であります子供たちの学力、または、文化の向上に大変貢献していただきまして、心から敬意と感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>私といたしましては、このたび、就任されました黒川新教育長、再任されました林委員、また、支部委員、橋本委員、須田委員とともに、この江別市の子供たちが生き生きと、伸び伸びと学べる環境、そして、江別市に住んで学んで良かったと思われるような教育を、是非皆さんと一緒に築き上げたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>その中で、現在は、第6次総合計画のえべつ未来戦略の後半が始まっておりますけれども、その考え方に基きまして、まちづくりを進めているところであります。</p> <p>そして、その上で教育行政につきましては、引き続き、江別市教育大綱に基づき、学校教育基本計画、社会教育総合計画、江別市スポーツ推進計画の各個別計画により、進んでまいりたいと考えておりますので、皆様方もよろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日の総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、平成27年度に設置し、今年で6年目を迎えることとなります。</p> <p>昨年度は、江別市教育大綱の改訂、教職員の働き方改革の推進、全国学力・学習状況調査、校内LAN、校務支援システム、またスマートフォンのルール等についてこの総合教育会議の中で議論していただきました。</p> <p>その中で、昨年からとなりますが、学校におけるデジタル化を進めております。</p> <p>これは国のGIGAスクール構想ということで始まりましたが、今回の新型コロナウイルス感染症の影響もございまして、リモート会議または、オンライン等を含めた会議がこれから一気に進むものと思っております。</p> <p>是非とも、国が進めるGIGAスクール構想に基づきまして、江別市でも、加速していきたいと思っております。</p> <p>また、そのための予算につきましては、できる限り確保して、GIGAスクール構想を進める考えでございますので、その点につきましてもよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の総合教育会議は、議題にあります令和2年度教育施策について外2件、全部で3件の議題を予定しております。</p> <p>未来の子供たち、江別市の次の子供たちを育てるための人材育成でございますので、忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>萬教育部長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これ以降の進行につきましては、江別市総合教育会議設置要綱第4条に基づき、市長をお願いしたいと思います。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
<p>三好市長</p>	<p>それでは、議事を進めてまいります。</p> <p>本日の議題は、1件目としまして令和2年度教育施策について、2件目としまして教育委員会における新型コロナウイルス感染症に係る対応について、3件目としましてGIGAスクール構想について、でございます。</p> <p>初めに、議題の(1)令和2年度教育施策についてを議題といたします。</p> <p>先ほどもお話ししましたが、先月末をもちまして、12年間江別市の教育行政をかじ取りしていただきました月田教育長が退任され、その後任といたしまして新たに黒川教育長が就任をされました。</p>

黒川教育長	<p>令和2年度教育施策につきまして、新しく就任された教育長に、抱負なども交え、どのように進めていくか、お話ししたいと思っております。</p> <p>それではどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>改めまして、6月30日に教育長に就任いたしました黒川です。</p> <p>皆様におかれましては、ご多忙のところご参集いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>教育行政の執行機関は、4名の教育委員と教育長で構成される教育委員会であり、公立学校の設置・管理、教職員の人事及び研修、生涯学習・社会教育及びスポーツの振興、文化財の保護などの職責を担っております。</p> <p>また、この総合教育会議は、教育委員会が市長とともに、教育、学術、文化の振興に係る総合的な大綱の策定や、江別市が重点的に進める教育施策、さらには、緊急の場合に講ずべき措置について、協議・調整を行う場として設けられ、様々な検討・意見交換が行われてきているところです。</p> <p>今後とも、市長と教育委員会が十分に意思疎通を図り、相互に連携する中で様々な課題に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>さて、本日の総合教育会議は、私が教育長を拝命してから初めての会議となりますことから、この場をお借りして、私の教育行政に対する基本的な考えを述べさせていただきますと思っております。</p> <p>教育は、人々の多様な個性・能力を開花させ人生を豊かにするとともに、社会全体の発展を実現する基盤となるものと思っております。</p> <p>教育の推進に当たっては、自立・協働・創造の理念の下、一人ひとりが生涯にわたって学び続けて様々な力を養い、その成果を社会に生かしていく、生涯学習社会を目指していく必要があります。</p> <p>江別市では、第6次総合計画における基本理念として、未来を担う子供たちが健やかに成長できるよう、教育の充実を図ることで、子育て応援のまちを目指すとともに、生きがいや心の豊かさを育む文化やスポーツ活動を充実し、活力のあるまちを目指すこととしています。</p> <p>こうした基本理念の実現に向けて、江別市教育大綱に基づき、学校教育や社会教育の充実を図り、生涯学習社会の実現を目指していきたいと考えております。</p> <p>まず、学校教育につきましては、子供たちが変化の激しい社会の中で生きていく力を身に付けるため、一人ひとりの個性に応じたきめ細やかな教育を受けられるよう、江別市学校教育基本計画に基づき、様々な取り組みを進めてきたところであります。</p> <p>外国語教育については、北海道内では先駆的に、平成27年度から、小学校全学年に外国語指導助手（ALT）を派遣し、英語教育を進めてきております。</p> <p>今年度の新学習指導要領からは、小学校中学年では外国語活動を、高学年では外国語科を、それぞれ実施となったことを受け、引き続き、外国語教育の充実を図ってまいります。</p> <p>また、ICTの活用については、平成26年度から小中学校の全学級に電子黒板を配置し、分かりやすい授業を進めてきたところです。</p> <p>児童生徒一人ひとりに合わせた学びを提供し、確かな学力向上を図るためには、ICT環境の整備は急務と考えております。</p> <p>このため、指導者用デジタル教科書の整備とともに、国が進めるGIGAスクール構想にあわせて、今年度中に、全ての小中学校に校内LANを整備して、高速・大容量インターネット通信が可能な環境を整え、あわせて、児童生徒用のタブレット端末の配置を進めていきたいと考えております。</p> <p>さらには、教育環境の整備として、これまでモデル校を中心に進めてきた小学生の中学校体験をはじめとする、小学校と中学校の円滑な接続を発展させ、義務教育9年間を見通した系統的な小中一貫教育の導入に向け、小中一貫教育基本方針の今年度中の策定を目指してまいります。</p> <p>このほか、児童生徒の確かな学力の定着を図るため、退職教員などによる学習サポート教員の学校への派遣や、児童生徒の体力向上に向けた市内大学の教員と学生による出前授業、さらには、特別支援教育における専門家チームによる巡回相談など、これまで続けてきた関係機関と連携した学校の教育活動を一層充実させていきたいと考えております。</p> <p>社会教育の分野につきましては、江別市は、地域の様々な団体と連携して、文化芸術や</p>
-------	--

	<p>スポーツ活動が大変盛んなまちであります。</p> <p>また、市内に4つの大学があるという強みを生かして、市民カレッジなど、多様な生涯学習の機会が設けられています。</p> <p>大学や自治会、文化・芸術・スポーツに関わる様々な団体との連携を強化するとともに、江別市社会教育総合計画及び江別市スポーツ推進計画に基づき、様々な生涯学習の機会を用意して、市民の皆様から協力を得ながら、社会教育の充実に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>一方で、目下最大の課題は、新型コロナウイルスへの対応であります。</p> <p>全国、そして江別市を含む石狩管内での感染拡大を受けて、小中学校では、新学期がスタートしてから間もなく長期にわたる臨時休校を余儀なくされ、土佐市やグレシャム市との交流事業やこんがり王国のキャンプ体験なども中止の判断を余儀なくされたところであります。</p> <p>学校再開後、1か月半余りが経過し、ようやく新しい友達や先生に慣れてきたところと承知しておりますが、これから、児童生徒の将来の人格形成に向けて、みんなが一緒になって勉強や運動を行う学校活動を本格的に軌道に乗せていかなければなりません。</p> <p>このため、感染症対策の徹底や授業時数の回復、または運動会や修学旅行などの学校行事をどのような形とするのかなどの様々な課題に対して、学校長をはじめ教職員と十分相談して対応を進めていきたいと考えております。</p> <p>さらには、今後、再び感染症が拡大する事態に備えて、オンライン学習の実施に向けた検討も進めなければならないものと考えています。</p> <p>また、社会教育の分野におきましても、芸術・文化事業の開催やスポーツ活動の機会提供について、感染対策を講じた上で、どのような支援・協力が可能なのかを関係団体と相談して対応してまいりたいと考えております。</p> <p>江別市では、学校や保護者だけではなく、教育関係機関や自治会、市内大学など、様々な団体との連携の下、教育活動が進められてきており、道内でも、授業のしやすい環境との定評を得ています。歴代の教育長をはじめ関係者が積み重ねられてきた努力と成果を継承し、江別市の教育の充実・発展のため、誠心誠意、全力で取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>皆様、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
三好市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>黒川教育長から令和2年度の教育施策や今後の江別市の教育行政を進める上での抱負などについて述べていただきましたが、皆様いかがでしょうか。</p>
支部教育委員	<p>今しがた、黒川教育長の方から、ICTを活用した授業の話があったと思います。私もこれは、非常に授業の内容の好循環を生んでいるのではないかと考えております。授業への集中、子供たちが電子黒板を見ながらやっている授業が、今まで私が感じてきた子供たちの教室での授業のイメージと非常に違って大変印象的でありまして、とても良かったと思います。費用は掛かりましたけれども、効果は出ていると感じております。</p>
三好市長	<p>電子黒板を平成25年に初めて導入いたしまして、当時の予算では、3クラスに1台ぐらいの予算しかなかったのですが、実際に購入してみたら機器が安くなりまして、初年度で半分導入できました。</p> <p>当初はモデル校に入れたのですが、子供たちの理解力が非常に高くなって、例えば、分数の授業で、何分の1かを絵を見て授業をすると理解が早いということもあって、翌年、父兄の方から、全部の学校に入れてほしいとの声が高まり、平成26年に全学級に導入いたしました。</p> <p>特に算数、数学などの利用で効果が高いという評価をいただきました。</p> <p>その当時は最新型だったのですが、今となっては、最新型ではなくなりましたので、更新の時期に来ていることは事実ですけれども、私なりに電子黒板は効果があったと思っております。</p> <p>その他の方いかがでしょうか。</p> <p>なければ私から、小中一貫教育のことについて教育長にお聞きしたいと思っております。</p>

<p>黒川教育長</p>	<p>小中一貫教育のうち、不登校対策とか中1ギャップの話がどうしても出てきまして、なかなか不登校の児童生徒の数は少なくないですし、教育のデジタル化が進むと、オンライン学習があたかも通常の教育になっても困るという気持ちがあります。</p> <p>なるべく、学校に来てもらって学んでいただく。学校そのものは、子供たちが集まって学ぶ場所ですから、そこで学力・学習の問題もありますが、人間社会としての学びもあります。そういう学びに来ていただきたいと思います。</p> <p>そういう不登校の児童生徒を一人でも少なくするのに、小中一貫の学習の研究を検討していただいておりますけれども、その点についていかがお考えでしょうか。</p> <p>まさに、小学校と中学校の接続という点でスムーズな接続のための一貫教育というのが、全国の中でも注視されている状況でございます。</p> <p>いろいろなまちで小学校の先生と中学校の先生とで一貫した教育課程をつくりましょうという取り組みが進められております。江別市でも小学生が中学校へ体験的に登校しましょうとか、中学校の先生が小学校に出向いて、出前授業を経験させることで、中学校の雰囲気を感じさせましょうといった様々な取り組みを行っており、江別第二小学校、江別第二中学校におけるモデル校でも、そのような具体的な取り組みを進めてきているところでもあります。</p> <p>今年度はそれらを受けて、江別市の小中一貫基本方針を策定し、次年度はその2校については、モデル校から指定校にさせていただきたいと考えており、それを基にその次の年には、江別市全体で小中一貫教育を広げて進めてまいりたいと考えております。</p>
<p>三好市長</p>	<p>モデル校の中でもやはり、成果が出てきているということですね。</p>
<p>黒川教育長</p>	<p>はい。</p>
<p>三好市長</p>	<p>分かりました。他のみなさん、いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。(了)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>江別市の教育は、現在、新型コロナウイルスの影響もありまして休校が続き、予定されている学習時間をどのようにして確保するか、大変苦労されていると思います。</p> <p>一方では、ICT化で教育の方法がどんどん変わっていくので、子供たちも学びの方法が変わるかもしれませんが、先生方も変わっていかねばならない。あわせて、予算や人の問題もありますが、我々はこうした変わっていく状況をどのように支えていくのかという課題がありまして、新型コロナウイルス関係から様々なところに変化が来しているのではないかと感じております。</p> <p>それに敏感に対応していくということで、黒川教育長の下で教育委員会が新体制となり、是非、より一層、教育行政の推進に努めていただきたいと思っておりますので、今後とも、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上で、本件を終結いたします。</p> <p>次に(2)の教育委員会における新型コロナウイルス感染症に係る対応についてを議題といたします。</p> <p>机上に幾つか資料が配られているようですので、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>萬教育部長</p>	<p>それでは、資料2をご覧ください。</p> <p>教育部では、新型コロナウイルス感染症への対応として、本年2月から5月末まで、公立小中学校や社会教育施設等の臨時休校・臨時休館等を行ったところであり、それらの状況についてご説明いたします。</p> <p>初めに、資料表面の一斉臨時休校などの説明の前に、裏面をご覧ください。</p> <p>本市の学校関係者の感染確認の事案2件について説明いたします。</p> <p>(1)市立小学校給食配膳員であります。2月22日土曜日に小学校の給食配膳員の感染が判明しました。</p> <p>この際は、保健所と協議の結果、児童生徒や教員との濃厚接触はないとの判断の下、土日に校内の消毒を実施した上で、休校は行わず、25日から通常どおり学校活動を行いま</p>

	<p>した。</p> <p>次に（２）市立中学校教諭であります。2月24日月曜日の祝日に、市内中学校に勤務する教員の感染が判明しました。これを受けて、保健所と協議の結果、濃厚接触者と判断された教職員・生徒については、2週間の自宅待機として市内公立小中学校全校の消毒を実施した上で、北海道教育委員会と調整し、当該中学校は2月25日から3月6日まで臨時休校としました。</p> <p>資料表面にお戻りください。</p> <p>休校・休館等の状況やその経過について、ご説明申し上げます。</p> <p>（１）小中学校等の休校等ですが、2月26日水曜日に北海道教育委員会から全道一斉の臨時休校要請が出されたことを受け、翌27日から3月6日まで、市内小中学校全校を臨時休校としました。</p> <p>その後、2月28日に国から全道一斉の臨時休校要請が出され、北海道教育委員会からも道内全ての小中学校、高等学校に休校要請が出されたことから、臨時休校を3月25日まで延長いたしました。</p> <p>春休み後の4月7日には、在校生や保護者が参列しないことなど、感染防止策を講じた上で、入学式、始業式を行い、学校を再開しましたが、4月16日木曜日に国の特別措置法に基づく緊急事態宣言の対象地域が全国に拡大され、翌17日金曜日には、北海道教育委員会から全道一斉の休校要請が出されたことを受け、4月20日月曜日から5月6日水曜日まで臨時休校とし、その後も、緊急事態宣言の期間延長を受けて、5月31日まで臨時休校期間を延長したところであります。</p> <p>5月25日月曜日、国の緊急事態宣言が解除されたことを受けて、6月1日から小中学校を再開したところであります。</p> <p>また、給食センターにつきましては、学校にあわせて、給食の提供休止と再開を決定したところであります。</p> <p>次に、（２）社会教育施設等の休館等についてであります。記載のとおり、各施設とも、北海道や国の緊急事態宣言や道立施設、近隣の状況等を鑑み、臨時休館等の措置を行いました。</p> <p>4月には、大規模イベント等を除き、感染防止策を講じた上で再開しましたが、国の緊急事態宣言の対象地域の拡大、期間延長などに対応して、再び臨時休館したところであります。</p> <p>他と臨時休館期間にずれがある、四つの体育館についてですが、学校再開にあわせて、4月7日から再開しましたが、再開後の利用者が通常時より増加し、密集・密接の回避が困難な状況となっていたこと、また、4月12日に発表された北海道・札幌市緊急共同宣言を受けて、札幌市から利用者が更に流入することも懸念されたことから、4月14日から臨時休館することとしたものであります。</p> <p>なお、情報図書館では、臨時休館中も本館及び市民交流施設ぷらっとでの予約図書の出しを行いました。</p> <p>これら社会教育施設の臨時休館等につきましては、5月25日に国の緊急事態宣言が全面解除されたことを受けて、6月から施設の運用を再開しております。</p> <p>再開後は、小中学校、社会教育施設ともに感染症対策を徹底した上で、学校活動や施設運用を行ってきており、その後、学校関係者や施設利用者の感染はございません。</p> <p>以上です。</p> <p>三好市長  ただいま、事務局からこれまでの新型コロナウイルス感染症に関連した一連の経過について説明いただきましたが、このことに関して皆さまから対応についての質問・ご意見はございませんでしょうか。</p> <p>橋本教育委員  当時は、まだ新型コロナウイルス感染症が出始めと言いますか、手探りの状態だったと思います。随分、江別市という名前が有名になった中で、素早い決断と素早い行動で、消毒や自宅待機をしてもらうなどの素早い行動が功を奏して、それ以上広がらなかったということが何よりだったと思います。</p> <p>現場の緊張感は、本当に想像を絶するところでしたけれども、まだ、終わったわけではないですから、今回の経験を踏まえた上で、これからも注意して進めていただきたいと思います。</p>
--	--

<p>三好市長</p>	<p>います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>これまでの関連と今後の対応ということで、まず、ウイルスは、目に見えるものではございませんので、このウイルスに対して危機感を持って感染防止の対応をとることは、やり過ぎることはないですし、最大限の対応していかなければならないと思っております。</p> <p>最初は、全くの手探りでございました。</p> <p>北海道教育委員会からの意見も含めて休校というのは有り得ませんでした。</p> <p>給食配膳員から感染者が出た時は、休校せずに消毒で対応するというお話でした。しかし、今度は、教職員に感染者が出たときには、濃厚接触者がたくさんいましたので、休校した上での対応ということになりました。</p> <p>どこまで休校していいのか、いつまで休校したら十分かということも分からなくて、基本的には、全学校の消毒をしようということになり、全ての小中学校の消毒をしたところでございます。</p> <p>そのあと、いろいろな事例がたくさん出てきて、どうすれば対応できるかが少しずつ分かり始めまして、いまでこそ、施設ごとの消毒方法ですとか、管理のルールといったものが、でき上がりましたので、対応できるようになりましたが、当時は、本当に大変な状況でして、模索しながらの対応でございました。</p> <p>そういう意味では、教育委員会の方へは、父兄やマスコミ等からの照会もあり、大変な状況であったと思います。</p> <p>どうもお疲れ様でございました。</p> <p>これから是非、教育委員の皆さまには、ご支援をいただければと思っております。</p> <p>そのほか、何かございませんでしょうか。(なし)</p> <p>この件につきましては、以上とさせていただきます。</p> <p>続きまして、学校運営の現在の状況あるいはこれから感染防止の対応につきまして資料を基に事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>萬教育部長</p>	<p>それでは、学習の遅れへの対応や感染防止対策についてご説明いたします。</p> <p>資料3をご覧ください。</p> <p>一斉休校による学習の遅れへの対応についてですが、北海道教育委員会等からの通知を受け、教育委員会では(1)に記載のとおり、年間指導計画の見直し、運動会等の学校行事の再編、夏休みや土曜日の登校日設定など、休校により遅れた授業時数の確保に努めております。</p> <p>次に、感染防止対策については、文部科学省が作成した衛生管理マニュアルに基づき、(2)に記載のとおり手洗いやマスクの着用、定期的な換気など基本的な感染防止対策を徹底するなど、児童生徒及び教職員の感染リスクを可能な限り低減し、学校での教育活動を再開しております。</p> <p>さらに、児童生徒が自ら感染リスクを避けるための指導や、感染症への不安などに対する心のケアにもあわせて取り組んでいるところです。</p> <p>次に資料4をご覧ください。</p> <p>この資料は、北海道教育委員会の資料の抜粋ですが、文部科学省が示した学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルの概要を記載したものでございます。</p> <p>中段枠囲みにあります学校の行動基準の地域の感染レベルについてであります。6月1日の学校再開以降において、江別市は、レベル1とされております。</p> <p>(2)には、臨時休校の判断について記載されております。</p> <p>これまでと同様、北海道教育委員会や保健所の助言を受けるとともに、記載の判断基準に基づき、学校における感染者の発生状況や地域や生活圏における、まん延状況などを踏まえ、臨時休校等を決定していくものでございます。</p> <p>以上です。</p>
<p>三好市長</p>	<p>ただいま、学習の遅れへの対応や感染防止対策、学校の新しい生活様式について説明を受けましたが、これらについて意見交換をしたいと思っております。教育委員の皆さんから何か</p>

<p>林教育委員</p>	<p>ございませんか。</p> <p>学校の対応についてですが、江別市という地理的なことから言えば、今、北海道の中で感染拡大している札幌市の感染拡大が一番大きになると、札幌市の感染状況には常に注視しなければならない状況であると思います。その中で、子供たちの安心、安全等と子供たちの学ぶ機会というこの二つのバランスを取りながら進めて行かなければならず、非常に難しいかじ取りになると思います。</p> <p>札幌市の感染状況が、今以上にどんどん広がって、一定の件数や数値を超えた場合、江別市に住まわれている方には、札幌市に通勤通学している人が多いものですから、江別市の感染状況のいかに関わらず、学校の休校措置とか施設の閉鎖等も考えないといけないと思います。</p> <p>その中でバランスを取って行かなければならないので、一方、矛盾するようなことかもしれないかもしれませんが、札幌市の状態がある一定規模で落ち着いているのであれば、江別市内の状況については、江別市独自の判断をしなければならないと思います。</p> <p>また、札幌市の感染者についても、クラスターなのか、市中感染なのか、感染の地域がどのエリアで起きているのかを分析し、江別市独自でも、判断してほしいと思います。</p> <p>様々な防止策をなされていますけれども、どれも基本的なことばかりです。基本的なことをやり続けることが、一番の感染症対策だと思います。</p> <p>私も仕事柄、食中毒等に気を付けている職に就いておりますけど、食中毒も同じで、とにかく、手を洗う、菌を持ち込まない、食材につけないということしかなく、今の感染症も同じだと思いますが、手を洗う、マスク着用する、検温をする等の基本的なことを徹底する。何かが起きるときというのは、基本的なことをおろそかにしたときに必ず起きるものですので、先生方も大変だと思いますが、子供たちに言い続けることを徹底していただきたいと思います。</p> <p>あと、今もそうだと思いますけれど、休校の判断をするときも、エリア単位、学校単位、学年単位、学級単位なのか。最大限安全に配慮しつつ、どうしたら子供たちの学びの機会を提供し続けられるかをオール江別で考え、取り組んでもらいたいと思います。</p>
<p>三好市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>林委員から、感染症に関連した様々な江別市の教育委員会としての休校判断等のルールを考える必要があるのではとの意見もあったと思いますが、教育委員会としては、どのように考えていますか。</p>
<p>萬教育部長</p>	<p>教育委員会も含めた全市的な対応という枠組みで言うと、新型コロナウイルスの感染症対策本部会議がございまして。そこは、保健部門を含めた全市的な感染状況の把握等、あるいは、市立病院でも医療的なアドバイスも受けられます。そういった中でも、一定の方向性を得ながら、教育委員会としても判断していきたいと考えています。</p> <p>文部科学省とか北海道教育委員会からの一定のルールもございまして、江別市の組織的な対応ということも同時にあろうかと思っております。全職員協力の下、しっかり対応していきたいと思います。</p>
<p>三好市長</p>	<p>今回の新型コロナウイルスに関連しては、徐々に色々なデータが出てきていまして、以前のように暗中模索の時には、一斉休校等がありました。現在は、データを生かし、地域の特性も生かして、全てが一律ではなく、感染防止を図りながらこういった対応をしていくかということも議論していかなければならないと思います。感染症が発症したら全てが休みということではないと私は思います。</p> <p>もう一つは、札幌市の話がありましたけれども、札幌市との連携は非常に強くて、新型コロナウイルスがまん延した後半の方になってきますと、濃厚接触者やクラスター、飛まつ感染の問題、基本的な消毒の話もありましたけれども、そのような関連するところの状況も分かってまいりましたので、札幌市と連携する必要性はあると思います。</p> <p>北海道も石狩管内ということで、札幌市を中心とした連携も行われているようなので、そのような形を参考にしながら江別市独自で判断しなければならないときは、判断しますし、札幌市を含めた石狩管内で判断しなければならないときは、たとえ江別市に感染者が</p>

<p>須田教育委員</p>	<p>なくとも全体として対応していかなければならないと思います。もちろん、学校も社会教育施設についても同様な考えになります。</p> <p>そのほかのご意見ありませんか。</p> <p>学校開放事業に携わっているのですが、6月14日から学校開放事業も再開可能とのことで、子供たちにバドミントン教室を江別市からのガイドラインに沿って行っております。</p> <p>まず、体育館に入る前に全員、検温と手指の消毒をして、その情報を毎回記録します。終わった後は、ガイドラインに沿って、物品、施設の消毒を行っているのですが、バドミントンは、今とても人気があって、人数は、一般コースが27名、育成コースが30名います。</p> <p>江別市からは25名以内というガイドラインがあるため、育成コースは週3回のうち2回、自分の来られるタイミングで来てもらう方法を取って、ある程度、密な状態になることを避けるようにしておりますが、一般コースの子供たちが27名で、最近は、二、三名休むことが多く、その場合でギリギリ25名くらいの状態で、行っております。</p> <p>子供たちも普段から楽しみにしているので、来ないでとも言えなく、体調の悪いときには休んでくださいという形で行っております。</p> <p>バドミントンをするときは、全部の入口や開けられるところを開放して対応していますが、夜になると、虫が異常なほど入ってくるので困っております。保護者の方も、密にならないようにと考えていただいて、以前は、保護者の方も体育館の中で見学していたのですが、今は車の中で待っている方が多いです。</p> <p>江別市からのガイドラインをよく読んでいない団体もたまにいて、もうちょっとしっかりやってほしいと思うこともあります。</p> <p>今、バドミントンをやりたいという希望者も多いのですが、3密を避けるという観点から受入れをご遠慮いただいていることが心苦しいというのが実情です。</p> <p>学校開放事業を行う上で、江別市からガイドラインがあることで、ここまで対策を行なったらいとの判断ができていますので、とても助かっております。</p>
<p>三好市長</p>	<p>スポーツごとにいろいろなルールがあったり、感染防止対策が違ったりするとは思いますが、まだまだ、新しい運動様式というのが、十分に徹底されていない部分があり、これから成熟していくことなると思いますけど、まだ、途中の段階だと思います。</p> <p>感染防止対策をしっかり守れる団体もあれば、慣れていなくて守れない団体もあると思います。</p> <p>そのような団体には、しつこく、粘り強く周知していくしかないと思います。</p> <p>そのほか、何かありませんか。(なし)</p> <p>江別市では、6月から学校の教育活動が再開しております。新型コロナウイルス感染拡大から小中学校やご家庭におかれましても、今まで経験したことのない中で対応をされていることと思います。本日、委員の皆様から頂いたご意見等も精査しながら、新しい環境に慣れる仕組みづくり、または体制づくりをしていきたいと思っておりますので引き続き、ご協力をお願いいたします。</p> <p>以上で、本件を終結いたします。</p> <p>次に(3)のGIGAスクール構想についてを議題といたします。</p> <p>こちら机の上に資料が配られているようですので、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>萬教育部長</p>	<p>それでは、資料5、資料6を一括して説明させていただきます。</p> <p>まず、資料5をご覧ください。</p> <p>この資料は、国から示されているGIGAスクール構想の実現についての資料の抜粋です。</p> <p>表紙をめくり、ページ番号3-6、GIGAスクール構想の実現をご覧ください。</p> <p>国の令和元年度補正予算の事業概要でございます。</p> <p>校内通信ネットワークの整備及び児童生徒1人1台端末の整備が示されており、江別市の対応としましては、市内25校全校の校内LAN整備を補正予算で措置した上で、全額</p>

を令和2年度に繰り越し、今年度執行しているところであります。

次のページ、ページ番号3-10、GIGAスクール構想の加速による学びの保障をご覧ください。

これは、国の令和2年度補正予算の事業概要でございます。

1人1台端末の早期実現に向け、令和5年度までの達成を目標としていた端末整備の前倒しを支援する事業等が示されており、江別市の対応といたしましては、今年度補正予算を活用し、小学校4年生以上の全児童生徒1人1台の端末整備と、小学校1年生から3年生には、3人に1台分の端末整備を行い、残りの台数については、令和4年度までに整備したいと考えております。

次に、資料6、国のGIGAスクール構想に基づくICT機器の整備について、ご説明いたします。

1の国のGIGAスクール構想についてであります。国は、GIGAスクール構想として記載の3つの事項を掲げ、ICTを活用した新しい教育の実現を目指しております。

国の構想の概要では、まず、一つ目として1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。二つ目として、これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す。三つ目として、さらに、令和2年度補正予算において、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境を早急に実現するため、ハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速するというものです。

次に、2の江別市の取り組みの方向性についてであります。教育委員会では、国の構想を受けて、学校と協議しながら取り組みの方向性について、次のように考えているところであります。

まず、一つ目として、全小中学校において高速大容量の通信ネットワーク環境を整備します。二つ目として、児童生徒用のタブレット端末や多機能大型ディスプレイの導入により、個々の習熟度に応じた授業の展開、双方向性の高い授業の実現、課題解決型学習など協働学習の強化を図ります。

こうしたことに向け、三つ目として、ICT機器の導入時の研修の実施や北海道情報大学等と連携した授業サポート体制など、教員の負担軽減に繋がる取り組みを進めます。

さらに四つ目として、緊急時等の家庭でのオンライン授業の実施に向け、セキュリティや通信状況等といった課題解決に向けた取り組みを進めます。

資料の裏面をご覧ください。

3のICT機器整備後の授業での活用方法についてであります。多機能大型ディスプレイの導入に当たっては、一斉学習において、NHK for schoolをはじめとしたウェブ教材の提示など、現在整備中の校内LANの効果を最大限発揮できること。

指導者用デジタル教科書を提示した授業の実施など、電子黒板は、現在の一斉学習でも標準装備となっており、授業実施の際には、なくてはならないツールであります。

また、教員と児童生徒との双方向性の高い授業を実現するための基礎となる機器であります。

導入理由としましては、多機能大型ディスプレイは、授業において児童生徒の1人1台端末を最大限に活用するためにも、なくてはならないものであり、電子黒板の更新の際には、多機能大型ディスプレイへの切替えについて、学校現場からの強い要望が挙がっているところであります。

次に、1人1台端末整備後の授業での活用方法についてであります。児童生徒一人ひとりの習熟度に応じた個別学習が実現できるほか、一人ひとりが問題の解き方を児童生徒のタブレット端末に書き、その回答を多機能大型ディスプレイに提示するなどの協働学習ができるようになります。

協働学習の実施により、授業において児童生徒用端末と多機能大型ディスプレイを連動して活用することができます。

さらに、非常時におけるオンライン授業での活用が見込まれます。

次に、4のICT整備計画についてであります。校内LANについては、今年度中に全校で整備予定となっております。

	<p>次に、児童生徒用1人1台端末については、今年度、小学校4年生以上の全児童生徒の端末整備と、小学校1年生から3年生は、3人に1台分の端末整備を行い、残りの台数については、令和4年度までに整備したいと考えております。</p> <p>次に、指導者用端末と多機能大型ディスプレイについても、今年度、整備を行いたいと考えております。</p> <p>次に、ネット回線については、全校で1人1台端末の整備が進むことにより、授業でのインターネット接続の通信速度が遅くなることが懸念されるため、各学校から直接インターネットに接続できる回線の整備を行いたいと考えております。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>ただいま、GIGAスクール構想関連しての事務局からの説明がありました。これにつきまして、何か質問・ご意見等ありませんでしょうか。</p>
黒川教育長	<p>1人1台端末の活用について、考えていることを述べさせていただきたいと思います。小学校においては今年度から、中学校においては来年度から、新しい学習指導要領が完全実施となります。この中核をなす考えというのは、主体的、対話的で深い学びという子供たちの姿を目指すということです。</p> <p>この対話的に学んでいってこそ、学びが確かに深まっていくのだという考えについてありますが、小学校、中学校に限らず、高校生や大学生あるいは、社会人になっても、どんな会社に勤めたとしても、1人で問題を解決しなければならないこともあります。仲間や同僚等と意見を交わし、課題を見つけて協働で乗り越えていく力こそが求められています。そのため小学校、中学校のうちから様々な意見を交わし、みんなで問題を解決していく経験をさせていく必要があるという考え方が背景にあると思っています。</p> <p>つまり、現在行われているコンピュータやタブレット端末を活用した授業においては、子供たちの様々な意見をグループで相談し、それをみんなの前で発表する中で、自分の考えを筋道立てて説明する力や、他のグループの発表を聞いて、自分たちが、思い付かなかった考えに共感すること、また分からない所を質問することなど、学級のみならず答えを導いたり、解決したりという経験をさせたいという願いの下、問題解決的な学習を日々、重ねているところでございます。</p> <p>そのようなときに、ICT機器を十分活用し、教員が全員のノートを見て歩くには、時間が掛かります。</p> <p>例えば、タブレット端末に記載したものを教室の多機能大型ディスプレイに集めると、教師は複数名の子供の考え方がすぐに分かります。教師は、そこから、何名かの答えをみんなの前で発表させて、みんなに考えさせようとして他の子からの意見を聞き出して、問題解決に繋げていくような授業を行っております。</p> <p>また、総合的な学習においては、子供なりにインターネットを活用して、様々なことを調べて、それを発表する活動も行われています。体育などでは、お互いの動作、運動の動きを動画や写真で撮ってみて、見せ合いながら、こうした方がいいなどの話合いに活用しています。理科などでは、植物や昆虫などを校外に出て、写真に収めてきて、それをお互いに図鑑と比べながら理解を深めてみるなど、そういう学習活動に活用しているところでございます。</p> <p>現在、災害や感染症対策などで、学校が休校になったときに、オンライン学習ができるからタブレット端末を整備する必要があると強く大きな視線が集まっております。もちろん、そのような考え方も必要だと思っておりますので、先ほど、オンライン学習の検討を始めてまいりたいと申し上げましたが、それが全てではなく、日常の対面学習の中でこそ、ICT機器は子供たちの力を高めてきたと思っております。それが、江別市の子供たちの学習への集中力の高さとか、学力の高さにつながっていると思っておりますので、単にオンライン学習のために整備するのではなくて、日常の対面学習の中で有効に活用していくことが、一層、重要ではないかと感じているところです。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>今、黒川教育長からタブレット端末の整備、GIGAスクール構想そのものが、オンライン学習を目的としているのではなくて、学習全体を支える一つのツールとして活用する</p>

	話でしたが、他の方の意見はございませんでしょうか。
支部教育委員	<p>私は、G I G Aスクール構想については、時代の先端を行く素晴らしいシステムが導入されると期待しています。</p> <p>しかし、期待と同時に初期導入時の指導について心配しております。江別市では、既にチーム・ティーチングという方法で、一つの教室で複数の教員が授業の理解度に応じて子供たちを支援し、授業に滞りがないようにするなど、非常に優れたシステムが運用されています。</p> <p>タブレット端末を使用する授業におきましても、初めて触る子もいるのではないかと思います。こうした授業でもチーム・ティーチングを利用して、電源の入れ方や授業で使用しているページの表示方法、児童生徒が操作に迷って指導に滞りがないよう、児童生徒の一人ひとりの情報が多機能大型ディスプレイ等で確認できると思いますが、初期導入時は児童生徒への支援ができるように教育委員会で配慮いただきたいと思います。</p>
三好市長	<p>初期導入時の対応についてですが、準備はどのようになっているのでしょうか。事務局では、どういうお考えでしょうか。</p>
萬教育部長	<p>教員の指導力の補助と児童生徒が正しくタブレット端末を使ってもらえる体制づくりですが、これから予算の提案をしていくところでございますけれども、すでに整備された後にどのような動きが必要かなどの意見交換を始めています。さらに、現場の声を聞きながら活用を行って現場とミスマッチのない形で導入したいと考えております。</p> <p>また、先行してモデル校で導入して、授業でどのような活用ができるかの研究を意見交換のメンバーを入れながらするという事も検討していきたいと思っております。</p> <p>さらには、市内の関係機関や北海道立教育研究所などでもICTの活用については、そのための機器を導入して適切な指導者を置いて研修を実施しておりますので、そういった力を借りるなど、または、北海道情報大学のアドバイスを受けられるような形で相談を進めております。できれば授業を実施する際にも、児童生徒と年齢も近い大学生が学校に入って授業サポートに当たれるようなことができないか北海道情報大学とも検討していきたいと考えております。</p> <p>以上です。</p>
三好市長	<p>江別第一小学校では、モデル校としてタブレット端末を入れて進めていましたよね。その実績を踏まえて、対応することもできると思います。</p> <p>是非、導入に支障がないようお願いいたします。</p> <p>そのほかございますか。</p>
須田教育委員	<p>子供たちへのサポート体制については、いろいろと考えていることを聞いて安心したところです。</p> <p>それと日常の対面学習の他に例えば、今回のような新型コロナウイルスで学校が休みになったときに、オンライン学習もできるようになると思うのですが、その時、各家庭のネットワーク環境がどうなっているかという調査は行われているのでしょうか。</p>
三好市長	<p>その点について、事務局に確認しますが、いかがでしょうか。</p>
萬教育部長	<p>各家庭のネットワーク環境についての詳細な調査については、現在、準備をしております。しっかり把握をしてどのような対応が必要か検討していきたいと思っております。</p>
三好市長	<p>私も、このG I G Aスクール構想について、全国市長会でもかなり重要視して、3年程前から要望をしていたのですが、まず、各学校のインターネットの回線がはいってないという問題があります。</p> <p>例えば、江別市は100%入っておりますが、全国でみても100%入っていない学校がありますので、インターネットの回線がなくて、オンライン学習ができない学校がたくさんあります。</p>

橋本教育委員	<p>今回の予算ですけれども、国の予算全体で5,000億円くらい付きまして、インターネットの回線は今年度末までに整備しましょうとなり、やっと整備する土俵ができあがったわけであります。</p> <p>しかし、問題と課題は山積しており、一つは、各家庭でインターネットに直接アクセスしますと、情報が全部漏れるのではないかという心配もあります。その情報が漏れないようにどのようにガードするか、いろんな方法でガードができる仕組みがありますが、どれも非常に高額なため、どのように対応していくかという課題があります。</p> <p>それと、他にも、各家庭のインターネット回線の量やスピードが違うという課題があります。整備されている家庭もあれば、全く整備されていない家庭もあります。ですから、家庭の状況について、各市町村が個別に調査をして、どうフォローしていくか、これは大きな課題であります。</p> <p>環境が整ってやっとオンライン学習ができるということで、私立学校では、Wi-Fiを使っておりません。ほとんどがLTEを使って個別にガードしているので、すごい回線数と費用が掛かっています。同様のことを全国の公立学校ではできませんので、どのように対応していくかも課題です。</p> <p>また、当初、国が去年の9月、10月くらいから急にGIGAスクール構想について進めて来まして、今まではなかなか対応できなかったのです。</p> <p>GIGAスクール構想については、やればやるほど、デジタル教科書の問題などいろいろな環境整備をしなければ、各学校全てにデジタル化するような教材、資料を作らなくてはならないのです。</p> <p>今回、デジタル教科書と多機能大型ディスプレイとタブレット端末とオンラインと今までできなかったことが、やっとスタートできる環境が整いました。</p> <p>私立学校は先行しておりますが、県立や道立などの公立の小中学校はこれからです。したがって、今後、どのような形で対応していくのかも課題です。</p> <p>今回、全国の公立学校でタブレット端末導入に当たり、販売各社8万から9万円くらいの単価でしたが、国が協議をいたしまして、どこのメーカーを選んでも価格を4万5,000円で統一してくれました。しかし、そこに入れるソフトは別料金です。ですから、導入するのに4万5,000円で全部できると考えるのは、大きな間違いです。実際には7万円とか8万円とか掛かります。そういう問題も残ってしまっていて、国に4万5,000円の予算だけでは、導入できないという話をしています。</p> <p>他の問題としては、回線料金が入っておりません。とてつもない回線料金が掛かりますので、これについても一体どうするかという問題もあります。</p> <p>国はやっと校内LANの補助金を昨年度の補正予算で付けましたので、今年度に繰り越して、執行しています。GIGAスクール構想も来年に整備だったのですが、新型コロナウイルス関係で前倒ししましたので、各市町村でまずは、校内LANをどのように整備するか、電源をどのように整備するか、そして、タブレット端末を全国一斉に入れますから、本当に在庫はあるのかという問題や課題は山積しております。一喜一憂することなく、一つひとつ着実に積み上げていく必要があります。</p> <p>また、先ほど申し上げた機械だけではなくて、大きいのはランニングコストです。ランニングコストが非常に高くなりますので、それを一体どうするかをこれから国に要望していかなければならない。ランニングコストについては、国からお金は一切入っておりません。電気料金にしても大変な電気料金になります。これを一体どうするかという課題も残っております。</p> <p>その他の方、何かご意見ございませんか。</p> <p>様々な大きい問題がある中で、このGIGAスクール構想というのは、何度もこの場でも話として出ていました校内LANがやっと整うということで、これから本当にスタートしていくところです。最終的にこの新型コロナウイルスがあり、オンライン授業というのが、すごく注目され、ほとんどの大学等で導入されたわけですけれども、これがそもその目的ではないと思います。オンライン授業という使い方も、新型コロナウイルスが流行したことから注目されているところですが、あくまでも教育長がおっしゃったように、対話力や人間としての力を学校の中で育てていく教育のために活用していただきたいと思っています。</p>
--------	---

	<p>今の環境下、なにがしかの問題があって学校に行きづらかったりする子供たちの学習面での心配事を、オンライン授業やタブレット端末によって解決できるのであれば、また学校のほうに児童生徒が目を向けられるのかなとか、そういった今までできなかった良い面も考えられます。もちろん、学校の先生方もいろいろと考えていただいていますので、皆が皆、平等に教育が受けられるように無限の可能性を生かしていけたらいいと思っております。</p>
三好市長	<p>そうですね。オンライン学習はそれぞれで行い、学校は子供たちが集まり、いろいろな意見交換をし、そして成熟、成長していくわけですから、そのための一つのツールとして、なにがしかの問題があって学校に来られない子供たちの学習機会の提供ですとか、勉強なり学ぶ手段のツールとしても活用することができますね。</p> <p>その他ございますか。</p>
林教育委員	<p>私としても、皆さんが話されたこととほとんど同じですが、G I G Aスクール構想、ここにもあるように教育の実践とI C Tのベストミックスを図ることなので、具体的にどのようにしたら子供たちにとってのベストミックスになるかを江別市として、保護者に説明していく必要があるかなと思います。保護者もG I G Aスクール構想というものが、どういったものかという認識がまだ薄いと思いますので、江別市なりのG I G Aスクール構想とはこういう形でこういう成果を上げていくというものを打ち出していくと思います。</p> <p>教育長がさきほど話されていたことに私も共感いたします。教育長がおっしゃられたことを丁寧に保護者へ説明していくと、G I G Aスクール構想がすんなりとうまくいくと思います。</p>
三好市長	<p>ありがとうございます。その他ございませんか。(なし)</p> <p>これから、I C Tを活用した教育はどんどん進歩もしていくと思いますし、どんどん変わっていくと思います。当然、そうなりますと、学校の整理のし方も変わってきますし、学校の先生の教え方も変わっていくと思います。常に時代の変遷に対応していくことが求められますので、そういう意味では教育現場は大変だと思います。</p> <p>そのために関連する予算、さらには整備するために様々な人材を確保していかなければならないと思っています。そのためには、教育委員会の皆さんと意思を一つにして、進めて行く必要がありますので、是非、機会があるごとに情報を共有しながら、進めていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。</p> <p>本日、予定していた三つの議題について、すべて終了いたしました。</p> <p>最後に本日、協議した以外のことで、何かご意見等はございませんか。(なし)</p> <p>以上で本日の協議事項はすべて終了しました。</p> <p>それでは、次回の日程ですが、緊急で協議を要する事案がない限り、10月から11月頃の開催を考えておりますので、事務局を通じてご連絡をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、本日の江別市総合教育会議を閉会いたします。</p> <p>大変活発なご議論をいただきましたことを、心より感謝いたします。ありがとうございました。</p>